

## 解析学 I に対する追加説明 #2

- テーラーの定理は次であった。

次を満たす  $\theta$  ( $0 < \theta < 1$ ) が存在する。

$$f(x) = \sum_{k=0}^{n-1} \frac{f^{(k)}(a)}{k!} (x-a)^k + R_n$$

$R_n = \frac{f^{(n)}(a + \theta(x-a))}{n!} (x-a)^n$  であり、これを**剰余項**と呼ぶ。

- 関数  $f$  が何回でも微分可能で、 $R_n \rightarrow 0$  ( $n \rightarrow \infty$ ) が成立するとき、テイラーの定理から

$$f(x) = \sum_{k=0}^{\infty} \frac{f^{(k)}(a)}{k!} (x-a)^k$$

が得られる。これを  $x = a$  における**テーラー級数**という。

- だから「テーラー級数を求めよ」という問題は、

$$R_n \rightarrow 0 \quad (n \rightarrow \infty) \tag{1}$$

を仮定すれば  $n$  次導関数を求める問題である。

- 条件 (1) が成立するとき、 $f$  は  $x = a$  で**テーラー級数展開可能**というが、我々は通常このことを仮定する。
- 次の問題を考える

$f(x) = x^2 \log x$  の  $x = 2$  におけるテーラー級数を求めよ。

- $x = 2$  におけるテーラー級数は上で  $a = 2$  としたものなので、

$$f(x) = \sum_{k=0}^{\infty} \frac{f^{(k)}(2)}{k!} (x-2)^k$$

の形をしている。よって  $f^{(k)}(x)$  を求めればよい。

- $n$  次導関数  $f^{(n)}(x)$  の形を予想するため何回か微分してみる。

$$f'(x) = 2x \log x + x$$

$$f''(x) = 2 \log x + 3$$

$$f^{(3)}(x) = 2x^{-1}$$

$$f^{(4)}(x) = -2x^{-2}$$

$$f^{(5)}(x) = 2 \cdot 2x^{-3}$$

$$f^{(6)}(x) = -2 \cdot 2 \cdot 3x^{-4}$$

- $6 = 3 \times 2 \times 1 = 3!$  に気がつけば  $n \geq 3$  に対し

$$f^{(n)}(x) = (-1)^{n+1} 2(n-3)! x^{-(n-2)} \quad (2)$$

が予想される。

- 式 (2) を数学的帰納法で証明しよう。

$$f^{(3)}(x) = \frac{2}{x} = (-1)^{3+1} 2(3-3)! x^{-(3-2)}$$

なので  $n = 3$  のとき成立している。

- $n = k$  のとき成立することを仮定する。即ち

$$f^{(k)}(x) = (-1)^{k+1} 2(k-3)! x^{-(k-2)}$$

の成立を仮定する。与式を  $x$  で微分すると

$$\begin{aligned} f^{(k+1)}(x) &= (f^{(k)}(x))' = ((-1)^{k+1} 2(k-3)! x^{-(k-2)})' \\ &= (-1)^{k+1} 2(k-3)! (-(k-2)) x^{-(k-2)-1} \\ &= (-1)^{k+2} 2(k-2)! x^{-(k-1)} \\ &= (-1)^{(k+1)+1} 2((k+1)-3)! x^{-((k+1)-2)} \end{aligned}$$

となり,  $n = k + 1$  でも成立している。

- 式 (2) は  $n = 0$  および  $n = 1, 2$  では成立していないことに注意すること。  $n = 0$  のときは

$$f^{(0)}(x) = f(x) = x^2 \log x$$

であるから  $f^{(0)}(2) = 4 \log 2$  である。

$n = 1$  のときは

$$f'(x) = 2x \log x + x$$

より  $f'(2) = 4 \log 2 + 2$  である。

$n = 2$  のときは

$$f''(x) = 2 \log x + 3$$

より  $f''(2) = 2 \log 2 + 3$  である。

$n \geq 3$  のときは

$$f^{(n)}(x) = (-1)^{n+1} 2(n-3)! x^{-(n-2)}$$

より

$$f^{(n)}(2) = (-1)^{n+1} 2(n-3)! 2^{-(n-2)}$$

である。

- よって

$$\begin{aligned} f(x) &= \sum_{k=0}^{\infty} \frac{f^{(k)}(2)}{k!} (x-2)^k \\ &= f^{(0)}(2) + f'(2)(x-2) + \frac{f''(2)}{2}(x-2)^2 + \sum_{k=3}^{\infty} \frac{f^{(k)}(2)}{k!} (x-2)^k \\ &= 4 \log 2 + (4 \log 2 + 2)(x-2) + \frac{2 \log 2 + 3}{2}(x-2)^2 \\ &\quad + \sum_{k=3}^{\infty} \frac{(-1)^{k+1} 2(k-3)! 2^{-(k-2)}}{k!} (x-2)^k \\ &= 4 \log 2 + (4 \log 2 + 2)(x-2) + \frac{2 \log 2 + 3}{2}(x-2)^2 \\ &\quad + n \sum_{k=3}^{\infty} \frac{(-1)^{k+1}}{2^{k-1} k(k-1)(k-2)} (x-2)^k \end{aligned}$$

が得られる。